

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人目白学園

(2) 大学名

目白大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒161-8539

東京都新宿区中落合4-31-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オザキ ハルキ) 尾崎 春樹 (平成27年1月)		
学長	(サワザキ タツオ) 沢崎 達夫 (平成30年4月)	(タハラ タカヒデ) 太原 孝英 (令和4年4月)	任期満了に伴い、令和4年4月1日、太原孝英前副学長が新学長に就任(4)
学部長	(コイケ マキコ) 小池 眞規子 (令和2年4月)		
学科長等	(コイケ マキコ) 小池 眞規子 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理カウンセリング学科 学士（心理学）	文学関係	4年	125人	—年次人	500人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	125 (—) [—]	() []	125 (—) [—]	() []	125 (—) [—]	() []	1.06倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	1,616 (—) [23]	() []	1,214 (—) [14]	() []	1,108 (—) [11]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	1,554 (—) [23]	() []	1,167 (—) [14]	() []	1,056 (—) [11]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	384 (—) [—]	() []	413 (—) [2]	() []	513 (—) [2]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	134 (—) [—]	() []	137 (—) [2]	() []	128 (—) [1]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.07			1.09			1.02		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					134 [0] [] (-) ()		137 [2] [] (-) (-)		128 [1] [] (-) ()		
2年次							133 [0] [] (-) ()		136 [2] [] (-) ()		
3年次									130 [0] [] (-) ()		
4年次											
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	134 [0] (-)	[] (-)	270 [2] (-)	[] (-)	394 [3] (-)	[] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	134 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	270 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	394 人	4 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2人)、 他の教育機関への入学(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	就職(1名)
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		5 人		5 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{270} = \boxed{0.37} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{394} = \boxed{1.01} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理カウンセリング学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			4	2					
	ベーシックセミナー	1後	1			4	2					
	小計 (2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1						兼13
	知の探究法	1後		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え方	1後		2								兼4
	小計 (4科目)	—										
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼2
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2		1		1				兼4
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼5
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼2
小計 (11科目)	—											
異分野入門科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2								兼4
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
小計 (7科目)	—											
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼4
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼2
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼1
小計 (4科目)	—											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナー 初年次	ベーシックセミナーⅠ	1前	1					2	3			
	ベーシックセミナーⅡ	1後	1					2	3			
	小計 (2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2				1				兼13
	知の探究法	1前		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2					1			兼18
	持続可能な社会を考える	1前		2								兼6
	デジタル化する社会を考える	1前		2								兼5
	科学的なものの見方・考え方	1前		2								兼4
小計 (6科目)	—											
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼3
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2				1	1			兼3
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼5
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼1
小計 (11科目)	—											
異分野入門科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2								兼2
	マスメディア学入門	2前		2								兼9
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2								兼5
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
小計 (7科目)	—											
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3後		2				1				兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼6
	食と農から考える地域と世界	3前		2								兼2
	世界の今を学ぼう	3前		2								兼5

資格関連科目	日本国憲法	1前・後	2							兼1
	遺跡を科学する（考古学）	1後	2							兼1
	芸術と人間（芸術論）	1後	2							兼1
	政治のしくみ（政治学）	1前	2							兼1
	アジアの歴史と文化（東洋史）	1後	2							兼1
	西洋の歴史と文化（西洋史）	1後	2							兼1
	日本の歴史（日本史）	1前・後	2							兼2
	環境物理学	1後	2							兼1
	自然地理学概説	1後	2							兼1
	やさしい観光開発（観光開発論）	1後	2							兼1
	社会学	1前	2							兼1
	法学	1前・後	2							兼1
	社会学概論	1前	2							兼1
	漢文学の世界（漢文学論）	1前	2							兼1
	現代文学	1前	2							兼1
	倫理	1前	2							兼1
小計（16科目）	—									
共通科目	日本語読解演習Ⅰ	1前	1							兼4
	日本語読解演習Ⅱ	1後	1							兼4
	日本語表現演習Ⅰ	2前	1							兼4
	日本語表現演習Ⅱ	2後	1							兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1							兼2
	小計（5科目）	—								
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1							兼4
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1							兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1							兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1							兼4
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1							兼3
	English Test Strategies	1前・後	1							兼5
	English Using CALL	1前・後	1							兼2
	Advanced Reading	2前	1							兼1
	Business English	2前・後	1							兼1
	Communication in the Media	2前・後	1							兼1
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1							兼1
	Dynamics of English Sound	2前・後	1							兼1
	Film English	2前・後	1							兼2
	Practical English Grammar	2前・後	1							兼1

基礎教養科目	世界の今を学ぼう	3後	2								兼5
	小計（4科目）	—									
	日本国憲法	1前・後	2								兼2
	考古学入門	1後	2								兼1
	芸術論入門	1後	2								兼1
	政治学概説	1後	2								兼1
	東洋史概説	1後	2								兼1
	西洋史概説	1前	2								兼1
	日本史概説	1前	2								兼1
	自然地理学概説	1後	2								兼1
	法学入門	1前・後	2								兼1
	社会学入門	1前	2								兼1
	漢文学概説	1前	2								兼1
現代文学入門	1前	2								兼1	
倫理学入門	1前	2								兼1	
小計（13科目）	—										
国語	国語基礎演習Ⅰ	1前	2								兼4
	国語基礎演習Ⅱ	1後	2								兼4
	日本語表現演習Ⅰ	2前	1								兼4
	日本語表現演習Ⅱ	2後	1								兼4
	専門レポート基礎演習	2後	1								兼2
	小計（5科目）	—									
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1								兼4
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1								兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1								兼4
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1								兼4
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1								兼4
	English Test Strategies	1前・後	1								兼4
	English Using CALL	1前・後	1								兼2
	Advanced Reading	2前	1								兼1
	Business English	2前・後	1								兼1
	Communication in the Media	2前・後	1								兼1
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1								兼1
	Dynamics of English Sound	2前・後	1								兼1
	Film English	2前・後	1								兼1
	Practical English Grammar	2前・後	1								兼1
	中国の言語と文化	1後	2								兼1

外国語	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼4	
	中国語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼2	
	中国語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼1	
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼2	
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼2	
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼2	
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼1	
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼1	
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼1	
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼3	
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼2	
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼2	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼2	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼2	
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼2	
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼1	
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼1	
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼1	
	応用中国語演習	2後	1							兼1	
	応用韓国語演習	2後	1							兼1	
	応用インドネシア語演習	2後	1							兼1	
	応用フランス語演習	2後	1							兼1	
応用ドイツ語演習	2後	1							兼1		
応用スペイン語演習	2後	1							兼1		
小計(38科目)	—										
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2							兼4	
	情報活用演習Ⅱ	2後	2							兼2	
	情報活用基礎演習A	1前・後	2							兼2	
	情報活用基礎演習B	1後	2							兼1	
	情報活用応用演習	1前・後	2							兼2	
	情報活用特別演習	2前	2							兼1	
	数と情報	1前・後	2							兼2	
小計(7科目)	—										
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1							兼3	
	生涯スポーツ2	2前・後	1							兼6	
	生涯スポーツ3	3前・後	1							兼2	
	健康科学	1前・後	1							兼2	
	健康科学演習(心とからだ)	2後	1							兼2	
小計(5科目)	—										
専門とキャリアA	2前	1		1	2	2				兼1	

外国語	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼3	
	中国語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼1	
	中国語基礎Ⅲ	2後	1							兼1	
	韓国の言語と文化	1前・後	2							兼1	
	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼3	
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1							兼2	
	韓国語基礎Ⅲ	2後	1							兼1	
	東南アジアの言語と文化	1前	2							兼1	
	インドネシア語入門	1後	1							兼1	
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼1	
	フランスの言語と文化	1前・後	2							兼2	
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼2	
	フランス語基礎Ⅱ	1後	1							兼1	
	フランス語基礎Ⅲ	2前	1							兼1	
	ドイツの言語と文化	1前・後	2							兼2	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1							兼2	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前	1							兼1	
	ドイツ語基礎Ⅲ	2後	1							兼1	
	スペインの言語と文化	1後	2							兼1	
	スペイン語入門	1前・後	1							兼1	
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後	1							兼1	
	応用中国語演習	2前	1							兼1	
応用韓国語演習	2後	1							兼1		
応用インドネシア語演習	2後	1							兼1		
応用フランス語演習	2後	1							兼1		
応用ドイツ語演習	2後	1							兼1		
応用スペイン語演習	2後	1							兼1		
小計(42科目)	—										
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2							兼4	
	情報活用演習Ⅱ	1後・2後	2							兼4	
	情報活用基礎演習A	1前	2							兼1	
	情報活用基礎演習B	2前	2							兼1	
	情報活用応用演習	2前	2							兼1	
情報活用特別演習	2前	2							兼1		
小計(6科目)	—										
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1							兼4	
	生涯スポーツ2	2前・後	1							兼6	
	生涯スポーツ3	3前・後	1							兼4	
	健康科学	1前・後	1							兼1	
健康科学演習(心とからだ)	2後	1							兼2		

キャリアデザイン	専門とキャリアB	2後	1		1	2	2		兼1	
	仕事と社会	3前		1					兼1	
	キャリア研修Ⅰ	1前・後		2					兼1	
	キャリア研修Ⅱ	2前・後		2					兼1	
	小計(5科目)	—								
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後	2		1					
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前	2		1					
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1後	2						兼1	
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後	2						兼1	
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後	2			1				
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前	2				1			
	小計(6科目)	—								
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2						兼1	
	臨床心理学概論	1前	2			1				
	心理学統計法	1後	2			2			兼2	
	心理学研究法	2前	2				1			
	心理学実験	2後	4			1	2		兼3	
小計(5科目)	—									
心理学発展科目	基本科目	知覚・認知心理学	1後	2						兼1
		学習・言語心理学	1後	2						兼1
		感情・人格心理学	2前	2			1			
		神経・生理心理学	1前	2						兼1
		社会・集団・家族心理学	1後	2				1		
		発達心理学	1前	2		1				
		障害者・障害児心理学	2後	2			1			
	小計(7科目)	—								
	実践科目	健康・医療心理学	2前	2		1				
		福祉心理学	2後	2			1			
		教育・学校心理学	2前	2		1				
		司法・犯罪心理学	2前	2			1			
		産業・組織心理学	2後	2				1		
	小計(5科目)	—								
関連科目	精神疾患とその治療	2後	2		1					
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2		1					
	公認心理師の職責	3前	2				1			
	関係行政論	3後	2		1	1	3			
小計(4科目)	—									
キャリアデザイン	家族心理学特講A(子どもの心理療法)	2後	2			1				
	家族心理学特講B(芸術療法)	3後	2						兼1	
	対人関係心理学特講A(パーソナリティと心理学)	2前	2		1					
	対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)	3前	2			1				
	多様性心理学特講A(コミュニティ心理学)	2後	2						兼1	

キャリアデザイン	小計(5科目)	—							
	専門とキャリアA	2前	1			2	3		
	専門とキャリアB	2後	1			2	3		
	仕事と社会	3前		1					兼1
	キャリア研修Ⅰ	1前・後		2					兼1
キャリア研修Ⅱ	2前・後		2					兼1	
小計(5科目)	—								
心理学導入科目	心理学と社会A(家族とこころ)	1後	2		1				
	心理学と社会B(多様性・文化とこころ)	1前	2		1				
	心理学と社会C(消費者とこころ)	1前	2						兼1
	心理学と社会D(人間関係とこころ)	1後	2						兼1
	心理学と社会E(子ども相談入門)	1後	2					1	
	心理学と社会F(こころの予防教育)	1前	2						1
	小計(6科目)	—							
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2						兼1
	臨床心理学概論	1前	2				1		
	心理学統計法	1後	2			1	1		兼2
	心理学研究法	2前	2					1	
	心理学実験	2後	4			1		2	兼2
小計(5科目)	—								
基本科目	知覚・認知心理学	1後	2						兼1
	学習・言語心理学	1後	2						兼1
	感情・人格心理学	2前	2			1			
	神経・生理心理学	1前	2						兼1
	社会・集団・家族心理学	1後	2				1		
	発達心理学	1前	2		1				
	障害者・障害児心理学	2後	2			1			
小計(7科目)	—								
心理学発展科目	健康・医療心理学	2前	2		1				
	福祉心理学	2後	2				1		
	教育・学校心理学	2前	2		1				
	司法・犯罪心理学	2前	2			1			
	産業・組織心理学	2後	2					1	
小計(5科目)	—								
関連科目	精神疾患とその治療	2前	2		1				
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2		1				
	公認心理師の職責	3前	2				1		
	関係行政論	3後	2		1	1	3	1	
小計(4科目)	—								
キャリアデザイン	家族心理学特講A(子どもの心理療法)	2後	2					1	
	家族心理学特講B(芸術療法)	3後	2						兼1
	対人関係心理学特講A(パーソナリティと心理学)	2前	2		1				

専門教育科目	心理学専修科目	多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2	1							
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2		1						
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2			1					
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2	1	1		2				
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2	1	1		2				
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2後	2		1						
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2							兼1	
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2		1						
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2							兼1	
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2	1							
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2				1				
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2		1						
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2				1				
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2				1				
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2							兼1	
		小計 (20科目)	—									
		心理学演習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1		1		1			
			心理学体験実習B (異文化体験)	2後	1		1			1		
			心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3前	1		1		1			
心理学入門演習	1前		2				1	3		兼1		
心理学基礎演習	2前		2			2		2		兼1		
心理学調査法	3後		2			1						
小計 (6科目)	—											
心理学実習的支援	心理的アセスメント	3後	2				1					
	心理学的支援法	3前	2		1							
	心理演習A	4前	2		1	1	1					
	心理演習B	4後	2		1	1	1					
	心理実習	4通	2		3	6	3			兼1		
	小計 (5科目)	—										
研 修 地	臨地研修 (短期)	2・3前	2				2					
	臨地研修 (長期)	2・3通	4				2					
	小計 (2科目)	—										
セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーA	3前	1		4	6	4			兼1		
	心理学専門セミナーB	3後	1		4	6	4			兼1		
	心理学特別セミナーA	4前	1		4	6	4			兼1		
	心理学特別セミナーB	4後	1		4	6	4			兼1		
	卒業研究	4通	4		4	6	4			兼1		
	小計 (5科目)	—										

専門教育科目	心理学専修科目	対人関係心理学特講B (ストレスと行動変容)	3前	2				1			
		多様性心理学特講A (コミュニティ心理学)	2後	2							兼1
		多様性心理学特講B (異文化・多様性カウンセリング)	3前	2			1				
		福祉心理学特講A (成人と高齢者の心理学)	2前	2					1		
		福祉心理学特講B (児童養護)	3前	2						1	
		学校心理学特講A (ピア・サポートA)	3前	2	1	1					2
		学校心理学特講B (ピア・サポートB)	3後	2		1	1				2
		学校心理学特講C (学校臨床心理学)	2前	2					1		
		医療健康心理学特講A (力動的心理療法)	2前	2							兼1
		医療健康心理学特講B (認知行動療法)	2後	2					1		
		医療健康心理学特講C (スポーツ心理学)	3前	2							兼1
		医療健康心理学特講D (身体疾患と心理)	3後	2	1						
		司法犯罪心理学特講A (被害者支援心理学)	2前	2							兼1
		司法犯罪心理学特講B (心理学と法)	2後	2							
		司法犯罪心理学特講C (加害と被害の臨床心理学)	3後	2					1		
		産業心理学特講A (キャリア心理学)	2前	2							兼1
		産業心理学特講B (産業カウンセリング)	3後	2							兼1
		小計 (20科目)	—								
		心理学演習	心理学体験実習A (ボランティア)	1前	1					1	
心理学体験実習B (異文化体験)	2後		1					1		1	
心理学体験実習C (メンタルサポートボランティア)	3前		1					1		1	
心理学入門演習	1前		2							3	
心理学基礎演習	2前		2							2	
心理学調査法	3後		2						1		
小計 (6科目)	—										
心理学実習的支援	心理的アセスメント	3後	2							1	
	心理学的支援法	3前	2							1	
	心理演習A	4前	2							2	
	心理演習B	4後	2							2	
	心理実習	4通	2						5	5	2
	小計 (5科目)	—									
研 修 地	臨地研修 (短期)	2・3前	2						2		
	臨地研修 (長期)	2・3通	4							2	
	小計 (2科目)	—									
セミナー・卒業研究	心理学専門セミナーA	3前	1						6	5	3
	心理学専門セミナーB	3後	1						6	5	3
	心理学特別セミナーA	4前	1						6	5	3
	心理学特別セミナーB	4後	1						6	5	3
	卒業研究	4通	4						6	5	3
	小計 (5科目)	—									

合計 (169科目)	-																		
卒業要件及び履修方法																			
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位																			

卒業研究	4通		4		6	5	3												兼1
小計 (5科目)	-																		
合計 (171科目)	-																		
卒業要件及び履修方法																			
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位																			

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナ 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	2	3				
	ベーシックセミナー	1後	1			1	2	3				
	小計(2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1						兼13
	知の探究法	1後		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え方	1後		2								兼4
	小計(4科目)	—										
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼3
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2		1		1				兼3
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼6
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼2
小計(11科目)	—											
異分野入門科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2								兼4
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
小計(7科目)	—											
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼5
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼3
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼1
小計(4科目)	—											
総合科目	日本国憲法	1前・後		2								兼1
	遺跡を科学する(考古学)	1後		2								兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
セミナ 初年次	フレッシュマンセミナー	1前	1			1	5	4				
	ベーシックセミナー	1後	1			1	5	4				
	小計(2科目)	—										
分野横断科目	大学生活と学問	1前		2		1						兼13
	知の探究法	1前		2								兼5
	「目白大学」を知る	1前		2								兼11
	科学的なものの見方・考え方	1前		2								兼4
	小計(4科目)	—										
学際科目	雑穀文化を学ぶ	2後		2								兼3
	感性を磨く芸術論	2後		2								兼3
	知の対象としての恋愛	2後		2		1		1				兼3
	人間と遊び	2後		2								兼6
	社会生活のデザイン	2後		2								兼3
	子供とメディア	2後		2								兼3
	「観光」で読み解く現代社会	2後		2								兼6
	お金とつきあう	2後		2								兼3
	社会の中のことば	2後		2								兼2
	日本語再発見	2後		2								兼6
	コトバの実験室	2後		2								兼1
小計(11科目)	—											
異分野入門科目	人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門	2前		2								兼4
	マスメディア学入門	2前		2								兼8
	江戸から東京へ	2前		2								兼3
	ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧	2前		2								兼5
	ことばの「しくみ」と「はたらき」	2前		2								兼3
	東アジアの言語と文化	2前		2								兼2
	古典に学ぶ	2前		2								兼1
小計(7科目)	—											
グローバル課題探求科目	グローバルな視点で学ぶ社会と人間	3前		2			1					兼4
	サステイナブル社会を考える	3前		2								兼5
	食と農から考える地域と世界	3後		2								兼5
	世界の今を学ぼう	3後		2								兼5
小計(4科目)	—											
総合科目	日本国憲法	1前・後		2								兼2
	遺跡を科学する(考古学)	1前・後		2								兼1

資格関連科目	芸術と人間（芸術論）	1後	2															兼1		
	政治のしくみ（政治学）	1前・後	2																兼1	
	アジアの歴史と文化（東洋史）	1後	2																兼1	
	西洋の歴史と文化（西洋史）	1前・後	2																兼1	
	日本の歴史（日本史）	1前・後	2																兼1	
	環境物理学	1後	2																兼1	
	自然地理学概説	1後	2																兼1	
	やさしい観光開発（観光開発論）	1後	2																兼1	
	社会学	1前	2																兼1	
	法学	1前・後	2																兼1	
	社会学概論	1前	2																兼2	
	漢文学の世界（漢文学論）	1前	2																兼1	
	現代文学	1前	2																兼1	
	倫理	1前	2																兼1	
	小計（16科目）	—																		
	共通科目	国語	日本語読解演習Ⅰ	1前	1															兼4
			日本語読解演習Ⅱ	1後	1															兼4
日本語表現演習Ⅰ			2前	1															兼4	
日本語表現演習Ⅱ			2後	1															兼4	
専門レポート基礎演習			2後	1															兼2	
小計（5科目）			—																	
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1																兼4	
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1																兼4	
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1																兼4	
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1																兼4	
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1																兼4	
	English Test Strategies	1前・後	1																兼5	
	English Using CALL	1前・後	1																兼2	
	Advanced Reading	2前	1																兼1	
	Business English	2前・後	1																兼1	
	Communication in the Media	2前・後	1																兼1	
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1																兼1	
	Dynamics of English Sound	2前・後	1																兼1	
	Film English	2前・後	1																兼2	
	Practical English Grammar	2前・後	1																兼1	
	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼4	
	中国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2	
	中国語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼1	

資格関連科目	芸術と人間（芸術論）	1後	2																兼1		
	政治のしくみ（政治学）	1前・後	2																兼1		
	アジアの歴史と文化（東洋史）	1後	2																兼1		
	西洋の歴史と文化（西洋史）	1前・後	2																兼1		
	日本の歴史（日本史）	1前・後	2																兼1		
	環境物理学	1後	2																兼1		
	自然地理学概説	1後	2																兼1		
	やさしい観光開発（観光開発論）	1後	2																兼1		
	社会学	1前	2																兼1		
	法学	1前・後	2																兼1		
	社会学概論	1前	2																兼2		
	漢文学の世界（漢文学論）	1前	2																兼1		
	現代文学	1前	2																兼1		
	倫理	1前	2																兼1		
	小計（16科目）	—																			
	共通科目	国語	日本語読解演習Ⅰ	1前	1																兼4
			日本語読解演習Ⅱ	1後	1																兼4
日本語表現演習Ⅰ			2前	1																兼4	
日本語表現演習Ⅱ			2後	1																兼4	
専門レポート基礎演習			2後	1																兼2	
小計（5科目）			—																		
共通科目	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ	1前	1																兼4		
	英語基礎(Fundamentals of English)Ⅱ	1後	1																兼4		
	総合英語(Integrated English)Ⅰ	1前	1																兼4		
	総合英語(Integrated English)Ⅱ	2前	1																兼4		
	専門基礎英語(Basic English for Special Fields)	2後	1																兼4		
	English Test Strategies	1前・後	1																兼4		
	English Using CALL	1前・後	1																兼2		
	Advanced Reading	2前	1																兼1		
	Business English	2前・後	1																兼1		
	Communication in the Media	2前・後	1																兼1		
	Communicative Listening and Writing	2前・後	1																兼1		
	Dynamics of English Sound	2前・後	1																兼1		
	Film English	2前・後	1																兼2		
	Practical English Grammar	2前・後	1																兼1		
	中国語基礎Ⅰ	1前・後	1																兼4		
	中国語基礎Ⅱ	1前・後	1																兼2		
	中国語基礎Ⅲ	2前・後	1																兼1		

外国語	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼2
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼2
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼1
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼3
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼2
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼2
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼2
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼1
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼1
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼1
	応用中国語演習	2前	1											兼1
	応用韓国語演習	2後	1											兼1
	応用インドネシア語演習	2後	1											兼1
	応用フランス語演習	2後	1											兼1
	応用ドイツ語演習	2後	1											兼1
応用スペイン語演習	2後	1											兼1	
小計 (38科目)	—													
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2											兼2
	情報活用演習Ⅱ	2後	2											兼3
	情報活用基礎演習A	1前・後	2											兼2
	情報活用基礎演習B	1後	2											兼1
	情報活用応用演習	1前・後	2											兼2
	情報活用特別演習	2前	2											兼1
	数と情報	1前・後	2											兼2
	小計 (7科目)	—												
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1											兼3
	生涯スポーツ2	2前・後	1											兼6
	生涯スポーツ3	3前・後	1											兼2
	健康科学	1前・後	1											兼2
	健康科学演習 (心とからだ)	2後	1											兼2
	小計 (5科目)	—												
キャリアデザイン	専門とキャリアA	2前	1		1	2	2							兼1
	専門とキャリアB	2後	1		1	2	2							兼1
	仕事と社会	3前	1											兼1
	キャリア研修Ⅰ	1前・後	2											兼1

外国語	韓国語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼2
	韓国語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼2
	韓国語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼2
	インドネシア語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼1
	インドネシア語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼1
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼3
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼2
	フランス語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼2
	ドイツ語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼2
	ドイツ語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼2
	スペイン語基礎Ⅰ	1前・後	1											兼1
	スペイン語基礎Ⅱ	1前・後	1											兼1
	スペイン語基礎Ⅲ	2前・後	1											兼1
	応用中国語演習	2前・後	1											兼1
	応用韓国語演習	2後	1											兼1
	応用インドネシア語演習	2後	1											兼1
	応用フランス語演習	2後	1											兼1
	応用ドイツ語演習	2後	1											兼1
応用スペイン語演習	2後	1											兼1	
小計 (38科目)	—													
情報活用演習	情報活用演習Ⅰ	1前	2											兼4
	情報活用演習Ⅱ	2後	2											兼4
	情報活用基礎演習A	1前・後	2											兼2
	情報活用基礎演習B	1後	2											兼1
	情報活用応用演習	1前・後	2											兼1
	情報活用特別演習	2前	2											兼1
	数と情報	1前・後	2											兼1
	小計 (7科目)	—												
スポーツ・健康	生涯スポーツ1	1前・後	1											兼2
	生涯スポーツ2	2前・後	1											兼7
	生涯スポーツ3	3前・後	1											兼4
	健康科学	1前・後	1											兼1
	健康科学演習 (心とからだ)	2後	1											兼2
	小計 (5科目)	—												
キャリアデザイン	専門とキャリアA	2前	1					1	5	4				
	専門とキャリアB	2後	1					1	5	4				
	仕事と社会	3前	1											兼1
	キャリア研修Ⅰ	1前・後	2											兼1

シ	キャリア研修Ⅱ		2前・後	2						兼1
	小計 (5科目)		—							
心理学導入科目	心理学と社会 A (家族とこころ)	1後	2	1						
	心理学と社会 B (多様性・文化とこころ)	1前	2	1						
	心理学と社会 C (消費者とこころ)	1前	2							兼1
	心理学と社会 D (人間関係とこころ)	1後	2							兼1
	心理学と社会 E (子ども相談入門)	1後	2					1		
	心理学と社会 F (こころの予防教育)	1前	2					1		
	小計 (6科目)	—								
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2							兼1
	臨床心理学概論	1前	2			1				
	心理学統計法	1後	2		1	1				兼2
	心理学研究法	2前	2				1			
	心理学実験	2後	4			1		2		兼1
	小計 (5科目)	—								
基本科目	知覚・認知心理学	1後	2							兼1
	学習・言語心理学	1後	2							兼1
	感情・人格心理学	2前	2			1				
	神経・生理心理学	1前	2							兼1
	社会・集団・家族心理学	1後	2				1			
	発達心理学	1前	2			1				
	障害者・障害児心理学	2後	2			1				
	小計 (7科目)	—								
心理学発展科目 実践科目	健康・医療心理学	2前	2	1						
	福祉心理学	2後	2			1				
	教育・学校心理学	2前	2	1						
	司法・犯罪心理学	2前	2			1				
	産業・組織心理学	2後	2				1			
	小計 (5科目)	—								
関連科目	精神疾患とその治療	2後	2		1					
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2		1					
	公認心理師の職責	3前	2				1			
	関係行政論	3後	2	1	1	3				
	小計 (4科目)	—								
心理学発展科目 実践科目	家族心理学特講 A (子どもの心理療法)	2後	2				1			
	家族心理学特講 B (芸術療法)	3後	2							兼1
	対人関係心理学特講 A (パーソナリティと心理学)	2前	2		1					

シ	キャリア研修Ⅱ		2前・後	2						兼1
	小計 (5科目)		—							
心理学導入科目	心理学と社会 A (家族とこころ)	1後	2	1						
	心理学と社会 B (多様性・文化とこころ)	1前	2	1						
	心理学と社会 C (消費者とこころ)	1前	2							兼1
	心理学と社会 D (人間関係とこころ)	1後	2							兼1
	心理学と社会 E (子ども相談入門)	1後	2					1		
	心理学と社会 F (こころの予防教育)	1前	2					1		
	小計 (6科目)	—								
心理学基礎科目	心理学概論	1前	2							兼1
	臨床心理学概論	1前	2			1				
	心理学統計法	1後	2		1	1				兼2
	心理学研究法	2前	2				1			
	心理学実験	2後	4			1		2		兼3
	小計 (5科目)	—								
基本科目	知覚・認知心理学	1後	2							兼1
	学習・言語心理学	1後	2							兼1
	感情・人格心理学	2前	2			1				
	神経・生理心理学	1前	2							兼1
	社会・集団・家族心理学	1後	2				1			
	発達心理学	1前	2			1				
	障害者・障害児心理学	2後	2			1				
	小計 (7科目)	—								
心理学発展科目 実践科目	健康・医療心理学	2前	2	1						
	福祉心理学	2後	2			1				
	教育・学校心理学	2前	2	1						
	司法・犯罪心理学	2前	2			1				
	産業・組織心理学	2後	2				1			
	小計 (5科目)	—								
関連科目	精神疾患とその治療	2前	2		1					
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2		1					
	公認心理師の職責	3前	2				1			
	関係行政論	3後	2	1	1	3		2	2	
	小計 (4科目)	—								
心理学発展科目 実践科目	家族心理学特講 A (子どもの心理療法)	2後	2					1		
	家族心理学特講 B (芸術療法)	3後	2							兼1
	対人関係心理学特講 A (パーソナリティと心理学)	2前	2		1					

専門教育科目	心理学専修科目	科目名	単位数	履修状況						備考			
				履修	合格	不合格	欠席	留年	その他				
専門教育科目	心理学専修科目	対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)	3前	2	1								
		多様性心理学特講A(コミュニティ心理学)	2後	2						兼1			
		多様性心理学特講B(異文化・多様性カウンセリング)	3前	2	1								
		福祉心理学特講A(成人と高齢者の心理学)	2前	2		1							
		福祉心理学特講B(児童養護)	3前	2			1						
		学校心理学特講A(ピア・サポートA)	3前	2	1	1		2					
		学校心理学特講B(ピア・サポートB)	3後	2	1	1		2					
		学校心理学特講C(学校臨床心理学)	2後	2		1							
		医療健康心理学特講A(力動的心理療法)	2前	2						兼1			
		医療健康心理学特講B(認知行動療法)	2後	2		1							
		医療健康心理学特講C(スポーツ心理学)	3前	2						兼1			
		医療健康心理学特講D(身体疾患と心理)	3後	2	1								
		司法犯罪心理学特講A(被害者支援心理学)	2前	2			1						
		司法犯罪心理学特講B(心理学と法)	2後	2		1							
		司法犯罪心理学特講C(加害と被害の臨床心理学)	3後	2			1						
		産業心理学特講A(キャリア心理学)	2前	2			1						
		産業心理学特講B(産業カウンセリング)	3後	2						兼1			
		小計(20科目)	—										
		実習科目	心理学演習	心理学体験実習A(ボランティア)	1前	1		1		1			
				心理学体験実習B(異文化体験)	2後	1		1			1		
心理学体験実習C(メンタルサポートボランティア)	3前			1			1		1				
心理学入門演習	1前			2				1	3		兼1		
心理学基礎演習	2前			2			1	1	2		兼1		
心理学調査法	3後			2			1						
小計(6科目)	—												
心理学的支援	心理学的支援	心理的アセスメント	3後	2				1					
		心理学的支援法	3前	2				1					
		心理演習A	4前	2			1	1	1				
		心理演習B	4後	2			1	1	1				
		心理実習	4通	2		4	4	4			兼1		
小計(5科目)	—												
研修地	研修地	臨地研修(短期)	2・3前	2				2					
		臨地研修(長期)	2・3通	4				2					
		小計(5科目)	—										
卒業研究	卒業研究	心理学専門セミナーA	3前	1		5	4	5			兼1		
		心理学専門セミナーB	3後	1		5	4	5			兼1		
		心理学特別セミナーA	4前	1		5	4	5			兼1		
		心理学特別セミナーB	4後	1		5	4	5			兼1		
		卒業研究	4通	4		5	4	5			兼1		

専門教育科目	心理学専修科目	科目名	単位数	履修状況						備考			
				履修	合格	不合格	欠席	留年	その他				
専門教育科目	心理学専修科目	対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)	3前	2	1								
		多様性心理学特講A(コミュニティ心理学)	2後	2						兼1			
		多様性心理学特講B(異文化・多様性カウンセリング)	3前	2	1								
		福祉心理学特講A(成人と高齢者の心理学)	2前	2			1						
		福祉心理学特講B(児童養護)	3前	2			1						
		学校心理学特講A(ピア・サポートA)	3前	2	1	1		1					
		学校心理学特講B(ピア・サポートB)	3後	2	1	1		1					
		学校心理学特講C(学校臨床心理学)	2後	2			1						
		医療健康心理学特講A(力動的心理療法)	2前	2						兼1			
		医療健康心理学特講B(認知行動療法)	2後	2			1						
		医療健康心理学特講C(スポーツ心理学)	3前	2						兼1			
		医療健康心理学特講D(身体疾患と心理)	3後	2	1								
		司法犯罪心理学特講A(被害者支援心理学)	2前	2				1					
		司法犯罪心理学特講B(心理学と法)	2後	2			1						
		司法犯罪心理学特講C(加害と被害の臨床心理学)	3後	2				1					
		産業心理学特講A(キャリア心理学)	2前	2				1			兼1		
		産業心理学特講B(産業カウンセリング)	3後	2							兼1		
		小計(20科目)	—										
		実習科目	心理学演習	心理学体験実習A(ボランティア)	1前	1			1		1		
				心理学体験実習B(異文化体験)	2後	1		1			1		
心理学体験実習C(メンタルサポートボランティア)	3前			1			1		1				
心理学入門演習	1前			2				1	3				
心理学基礎演習	2前			2			1	1	2				
心理学調査法	3後			2			1						
小計(6科目)	—												
心理学的支援	心理学的支援	心理的アセスメント	3後	2				1					
		心理学的支援法	3前	2				1					
		心理演習A	4前	2			1	1	1				
		心理演習B	4後	2			1	1	1				
		心理実習	4通	2		4	5	3			兼1		
小計(5科目)	—												
研修地	研修地	臨地研修(短期)	2・3前	2				1	1				
		臨地研修(長期)	2・3通	4				1	1				
		小計(5科目)	—										
卒業研究	卒業研究	心理学専門セミナーA	3前	1		5	5	4			兼1		
		心理学専門セミナーB	3後	1		5	5	4			兼1		
		心理学特別セミナーA	4前	1		5	5	4			兼1		
		心理学特別セミナーB	4後	1		5	5	4			兼1		
		卒業研究	4通	4		5	5	4			兼1		

	小計 (5科目)	-																		
合計 (169科目)		-																		
卒業要件及び履修方法																				
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位																				

	小計 (5科目)	-																		
合計 (169科目)		-																		
卒業要件及び履修方法																				
卒業要件:124単位 共通科目:28単位以上 専門教育科目:84単位以上(必修科目34単位、選択必修科目10単位、 選択科目40単位以上) (内訳)心理学導入科目4単位選択必修 心理学基礎科目12単位必修 心理学発展科目14単位必修 心理学専修科目6単位選択必修 心理学演習実習科目4単位必修 セミナー・卒業研究4単位必修 自由選択科目:12単位																				

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「准教授4、講師2」から「教授1、准教授2、講師3」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「ベーシックセミナー」の専任教員等の配置を「准教授4、講師2」から「教授1、准教授2、講師3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「雑穀文化を学ぶ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・科目担当者の退職のために、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置における兼任・兼任数を4から3に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「「観光」で読み解く現代社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「サステイナブル社会を考える」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「食と農から考える地域と社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「政治のしくみ(政治学)」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「西洋の歴史と文化(西洋史)」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・科目担当者の退職のために、「日本の歴史(日本史)」の専任教員等の配置における兼任・兼任数を2から1に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「社会学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門基礎英語(Basic English for Special Fields)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「応用中国語演習」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学と社会E(子ども相談入門)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学統計法」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「家族心理学特講A(子どもの心理療法)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「対人関係心理学特講B(ストレスと行動変容)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び採用により、「心理学的支援法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6、講師3、兼任・兼任1」から「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格、退職及び採用により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」に変更。

【令和3年度】

- ・教育課程の充実を図るために、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師3」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「ベーシックセミナー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師3」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「知の探究法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「科学的なものの方・考え方」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「知の対象としての恋愛」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、兼任・兼任3」から「教授1、准教授1、兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「コトバの実験室」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「ビジネス偉人伝～先達に学ぶ生きるための智慧」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「食と農から考える地域と世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「世界の今を学ぼう」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「English Test Strategies」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「情報活用演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用応用演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「情報活用応用演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「生涯スポーツ1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ3」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門とキャリアA」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、兼任・兼任1」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「専門とキャリアB」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2、兼任・兼任1」から「教授1、准教授5、講師4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、助教2、兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「福祉心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「精神疾患とその治療」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師3」から「教授1、准教授2、講師2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「学校心理学特講A(ピア・サポートA)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「学校心理学特講B(ピア・サポートB)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「産業心理学特講A(キャリア心理学)」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。

- ・担当教員の退職により、「心理学体験実習C(メンタルサポートボランティア)」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格及び担当者変更により、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「講師1、助教3、兼任・兼任1」から「准教授1、助教3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教2」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」から「教授4、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「臨床研修(短期)」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「臨床研修(長期)」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」に変更。

【令和4年度】

- ・カリキュラム改正により、「フレッシュマンセミナー」の授業科目名を「ベーシックセミナーⅠ」に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「准教授2、講師3」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「ベーシックセミナー」の授業科目名を「ベーシックセミナーⅡ」に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「准教授2、講師3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「目白大学を知る」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「准教授1、兼任・兼任18」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「持続可能な社会を考える」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「デジタル化する社会を考える」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「観光」で読み解く現代社会」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「人文系学生のための情報ネットワーク・データ活用入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「マスメディア学入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・時間割調整のため、「グローバルな視点で学ぶ社会と人間」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「サステイナブル社会を考える」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・時間割調整のため、「食と農から考える地域と世界」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「遺跡を科学する(考古学)」の授業科目名を「考古学入門」に変更、配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「芸術と人間(芸術論)」の授業科目名を「芸術論入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「政治のしくみ(政治学)」の授業科目名を「政治学概説」に変更、配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「アジアの歴史と文化(東洋史)」の授業科目名を「東洋史概説」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「西洋の歴史と文化(西洋史)」の授業科目名を「西洋史概説」に変更、配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「日本の歴史(日本史)」の授業科目名を「日本史概説」に変更、配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「環境物理学」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「やさしい観光開発(観光開発論)」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「社会学」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「法学」の授業科目名を「法学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「社会学概論」の授業科目名を「社会学入門」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「漢文学の世界(漢文学論)」の授業科目名を「漢文学概説」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「現代文学」の授業科目名を「現代文学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「倫理」の授業科目名を「倫理学入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「日本語読解演習Ⅰ」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「日本語読解演習Ⅱ」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「国語基礎演習Ⅰ」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「国語基礎演習Ⅱ」を追加。
- ・時間割調整のため、「Business English」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・時間割調整のため、「Communication in the Media」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・時間割調整のため、「Communicative Listening and Writing」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整のため、「Dynamics of English Sound」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整のため、「Film English」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整のため、「Practical English Grammar」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「中国の言語と文化」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「中国語基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「中国語基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整のため、「中国語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「韓国の言語と文化」を追加。
- ・教育課程の充実を図るために、「韓国語基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「韓国語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「東南アジアの言語と文化」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「インドネシア語基礎Ⅰ」の授業科目名を「インドネシア語入門」に変更、配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「インドネシア語基礎Ⅱ」を削除。
- ・カリキュラム改正により、「フランスの言語と文化」を追加。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「フランス語基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・時間割調整のため、「フランス語基礎Ⅱ」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整のため、「フランス語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「ドイツの言語と文化」を追加。
- ・時間割調整のため、「ドイツ語基礎Ⅱ」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割調整のため、「ドイツ語基礎Ⅲ」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「スペインの言語と文化」を追加。
- ・カリキュラム改正により、「スペイン語基礎Ⅰ」の授業科目名を「スペイン語入門」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「スペイン語基礎Ⅱ」を削除。
- ・時間割調整のため、「応用中国語演習」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「情報活用演習Ⅱ」の配当年次を「2後」から「1後・2後」に変更。

- ・カリキュラム改正により、「情報活用基礎演習B」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「情報活用応用演習」の配当年次を「1前・後」から「2前」に変更。
- ・カリキュラム改正により、「教と情報」を削除。
- ・教育課程の充実を図るために、「生涯スポーツ1」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「生涯スポーツ2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・担当教員の昇格、時間割調整による担当者変更のため、「専門とキャリアA」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員の昇格、時間割調整による担当者変更のため、「専門とキャリアB」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師4」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員の昇格、時間割調整による担当者変更のため、「心理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、助教2、兼任・兼任3」から「教授1、助教2、兼任・兼任2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「公認心理師の職責」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師2」から「教授1、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「福祉心理学特講A（成人と高齢者の心理学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「学校心理学特講A（ピア・サポートA）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1、助教2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「学校心理学特講B（ピア・サポートB）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1、助教2」に変更。
- ・時間割調整のため、「学校心理学特講C（学校臨床心理学）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「司法犯罪心理学特講A（被害者支援心理学）」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「司法犯罪心理学特講C（加害と被害の臨床心理学）」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格および退職のため、「心理学体験実習A（ボランティア）」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「心理学体験実習C（メンタルサポートボランティア）」の配当年次を「3前」から「3通」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇格および退職のため、「心理演習A」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格および退職のため、「心理演習B」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師4、兼任・兼任1」から「教授5、准教授5、講師2、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「隣地研修（短期）」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「隣地研修（長期）」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学専門セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学専門セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学特別セミナーA」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「心理学特別セミナーB」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5、講師4、兼任・兼任1」から「教授6、准教授5、講師3、兼任・兼任1」に変更。

【令和5年度】

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	134 科目	0 科目	169 科目	35 科目 []	136 科目 [2]	0 科目 []	171 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	環境物理学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
2	やさしい観光開発（観光開発論）	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
3	社会学	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
4	日本語読解演習Ⅰ	1	1	一般	必修	カリキュラム改正のため、科目を新設
5	日本語読解演習Ⅱ	1	1	一般	必修	カリキュラム改正のため、科目を新設
6	インドネシア語基礎Ⅱ	1	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
7	スペイン語基礎Ⅱ	1	1	一般	選択	カリキュラム改正のため
8	数と情報	2	1	一般	選択	カリキュラム改正のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年4月より、共通科目の過去4年間の科目運用実績を踏まえ、履修者数の平準化および教育課程の充実を図るために科目の追加・削除をおこなった。学生に対しては年度当初のオリエンテーションで科目の変更について周知するとともに、履修についての説明資料等にもカリキュラムが変わったことを周知した。なお新カリキュラムは改正年度の入学者から適用することとしているため学生への影響はほぼないと考えられる。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{8}{169} = \boxed{4.73}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	隣地境界再測量のため (3) 校舎敷地と別地 (電車・バス90分)			
	校 舎 敷 地	49,716.30㎡	23,114.33㎡ 23,095.99㎡	14,083.86㎡	86,914.49㎡ 86,896.15㎡				
	運 動 場 用 地	0㎡	13,351.00㎡	13,800.00㎡	27,151.00㎡				
	小 計	49,716.30㎡	36,465.33㎡ 36,446.99㎡	27,883.86㎡	114,047.15㎡				
	そ の 他	1,877.06㎡	0㎡	0㎡	1,877.06㎡				
	合 計	51,593.36㎡	36,465.33㎡ 36,446.99㎡	27,883.86㎡	115,942.55㎡ 115,924.21㎡				
(2) 校 舎	専 用			共用する他の 学校等の専用	計	目白大学短期大学部と共用 7号館一部を中高に改修 (4) 中高倉庫を除却(3) 歯科衛生学科の設置等の ための整備、新校舎(8 号館)建設のため(2)			
	24,372.88㎡ (24,372.88㎡)	39,513.07㎡ 41,644.36㎡ 42,666.94㎡	18,306.67㎡ 16,890.46㎡ 17,026.71㎡ 16,452.63㎡	(16,452.63㎡)	82,192.62㎡ 82,897.70㎡ 83,043.95㎡ 83,492.45㎡				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	目白大学短期大学部と共用 7号館一部を中高に改 修、教室の一部変更、改 修(4) 新校舎(8号館)との接 続のため通路等に改修 (2)			
	92 94 95室	39 43室	61 67室	16 15室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		研究室の整備(4) 研究室の整備(2)			
	心理学部心理カウンセリング学科			17 18 17 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	心理学部 心理カウンセリ ング学科	403,000 [35,600] (397,900 [35,696])	1,450 [430] (1,407 [412])	230 [210] (222 [215])	13,000 (12,934)	0 ()	0 ()		
	計	403,000 [35,600] (397,900 [35,696])	1,450 [430] (1,407 [412])	230 [210] (222 [215])	13,000 (12,934)	0 ()	0 ()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	4,393.13㎡	708	300,000						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	4,636.70㎡	テニスコート —							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	実績に基づく(2) 誤記修正(2)	
	教員1人当り研究費等 共 同 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	2,871千円	2,200千円	2,200千円		
		0千円 1,300千円	1,300千円	設備購入費	27,943千円	5,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,346千円 1,370千円	1,096千円	1,096千円	1,096千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		経常費補助金、資産運用収入、付随事業収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	目 白 大 学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
心理学部											
心理カウンセリング学科	4	125	—	500	学士(心理学)	1.06	1.02	—	令和2	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	
人間学部											
心理カウンセリング学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
人間福祉学科	4	100	3年次10	420	学士(人間福祉学)	1.00	0.85	—	平成16	同上	平成29年度定員変更(△20)
子ども学科	4	140	3年次10	580	学士(子ども学)	1.00	0.92	—	平成19	同上	
児童教育学科	4	50	—	200	学士(児童教育学)	0.95	0.68	—	平成21	同上	
社会学部											
社会情報学科	4	120	3年次5	490	学士(社会情報学)	1.05	1.07	—	平成12	同上	
メディア表現学科	4	—	—	—	学士(社会科学)	—	—	—	平成12	同上	平成30年度学生募集停止
地域社会学科	4	80	3年次5	330	学士(地域社会学)	1.03	1.00	—	平成18	同上	
メディア学部											
メディア学科	4	140	—	560	学士(メディア学)	1.08	1.15	—	平成30	同上	
経営学部											
経営学科	4	130	3年次5	530	学士(経営学)	0.97	1.00	—	平成14	同上	平成29年度定員変更(10)
外国語学部											
英語学科	4	80	3年次5	330	学士(英語)	0.90	1.02	—	平成17	同上	
中国語学科	4	40	—	160	学士(中国語)	1.07	0.92	—	平成20	同上	
韓国語学科	4	60	—	240	学士(韓国語) 学士(韓国語教育)	1.08	1.13	—	平成20	同上	
日本語・日本語教育学科	4	40	—	160	学士(日本語) 学士(日本語教育)	1.09	1.10	—	平成20	同上	
保健医療学部											
理学療法学科	4	85	—	340	学士(理学療法)	0.91	0.74	—	平成17	埼玉県さいたま市岩槻区浮谷320番地	平成29年度定員変更(5)
作業療法学科	4	60	—	240	学士(作業療法)	0.64	0.36	—	平成17	同上	
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士(言語聴覚)	0.78	0.62	—	平成18	同上	
看護学部											
看護学科	4	105	—	420	学士(看護学)	1.06	1.11	—	平成18	同上	平成29年度定員変更(5)
大学全体	—	1395	40	5660	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	目 白 大 学 大 学 院					学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
国際交流研究科											
国際交流専攻	2	20	—	40	修士(国際学)	0.35	0.30	—	平成11	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	
心理学研究科											
現代心理学専攻	2	20	—	40	修士(心理学)	0.37	0.50	—	平成20	同上	
臨床心理学専攻	2	30	—	60	修士(心理学)	0.38	0.30	—	平成14	同上	
心理学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(心理学)	0.33	1.00	—	平成16	同上	
経営学研究科											
経営学専攻	2	20	—	40	修士(経営学)	0.12	0.15	—	平成16	同上	
経営学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(経営学)	—	—	—	平成21	同上	令和3年学生募集停止
生涯福祉研究科											
生涯福祉専攻	2	20	—	40	修士(社会福祉学) 修士(保育学)	0.07	0.10	—	平成19	同上	
言語文化研究科											
日本語・日本語教育専攻	2	10	—	20	修士(日本語学)	0.50	0.40	—	平成20	同上	
中国・韓国言語文化専攻	2	10	—	20	修士(中国言語文化) 修士(韓国言語文化)	0.35	0.60	—	平成20	同上	
看護学研究科											
看護学専攻	2	15	—	30	修士(看護学)	0.33	0.13	—	平成21	埼玉県和光市諏訪2丁目12番地	
リハビリテーション学研究科											
リハビリテーション学専攻	2	15	—	30	修士(リハ'リ-ション学)	0.19	0.33	—	平成24	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	
大学全体	—	163	—	329	—	—	—	—	—	—	
大学の名称	目 白 大 学 短 期 大 学 部					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
製菓学科	2	55	—	110	短期大学士(生活科学)	1.10	1.05	—	平成19	東京都新宿区中落合4丁目31番1号	平成30年度定員変更(△10) 平成31年度定員変更(△15)
ビジネス社会学科	2	75	—	150	短期大学士(社会経済)	1.06	1.05	—	平成22	同上	平成30年度定員変更(△10)
歯科衛生学科	3	60	—	180	短期大学士(歯科衛生学)	0.98	1.10	—	令和元	同上	
大学全体	—	190	—	440	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理カウンセリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「目白大学新宿キャンパス各種委員会規程」並びに「目白大学さいたま岩槻キャンパス各種委員会規程」に基づき、新宿キャンパス（心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部及び外国語学部）並びにさいたま岩槻キャンパス（保健医療学部及び看護学部）毎に副学長（総務担当）を委員長とする「FD実施委員会」を設置している。【添付資料①】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度はキャンパス合同で6月14日（月）～6月18日（金）に第1回FD実施委員会を実施し、GoogleClassroomで全ての構成員に審議事項を配信して承認を得た。
令和4年度も同時期に状況に配慮した形での開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 2021年度FD実施委員会構成員
 - ・ 目白大学・目白大学短期大学部FD活動の目標について
 - ・ 2021年度全学FD研修会実施計画(案)について
 - ・ 2020年度「FD活動実施報告書」
 - ・ 2021年度「FD活動実施計画書」の提出について
 - ・ 2020年度の授業評価アンケートの公開について
 - ・ 2021年度の授業評価アンケートの実施（大学）について
- 令和4年度も同様の内容を予定している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学FD研修会（計2回）
「コンプライアンス教育・研究倫理教育」、「研究成果報告」、「授業と評価に関する研修」（第1回）
「地球規模で進む課題と人間社会：SDGsとこれからの教育」「共通教育改訂と副専攻／ブランディング戦略とフィールド教育」（第2回）
- ・学科でのFD活動計画書に基づいた研修の実施

b 実施方法

全学教員を対象とした「全学FD研修会」を年2回実施するとともに、学科単位でのFD研修会を年1回以上開催し、実施報告書を教務部研究支援課に提出することとしている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和3年度第1回全学FD研修会（令和3年9月開催（オンデマンド受講）・教員308名受講）
- ・令和3年度第2回全学FD研修会（令和4年2月開催（オンデマンド受講）・教員221名受講）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD研修会で取り上げた内容、授業参観のフィードバック、及び下記授業評価アンケート結果に基づき、各教員は授業の改善や教育技術の向上に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価」実施要領に基づき、原則学期ごとに開講されているすべての科目について実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は、教務部教務課より各教員及び当該学科長（学科長にあつては学部長、学部長にあつては学長）にフィードバックされる。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙の通り

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

「令和4年度 自己点検・評価報告書」を令和4年7月末に公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定（令和4年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

目白大学心理学部は、現代社会における心理的諸問題に対応するべく、公認心理師を養成し、地域や社会へ積極的に貢献できる人材を輩出するために「心理とカウンセリングの理論と実践の統合」の理念を生かし、教育と研究を行う目的で2020年4月に設置された。学部の目的を達成するために、2022年4月末日までに以下の取り組みを行った。

1. 入学者の確保

本学部の「幅広い心理学領域を体系的に学べる」、「実践力を養うために実習・演習科目群を多数開設している」、「国家資格「公認心理師」対応カリキュラムである」という特性や教学内容、及びアドミッションポリシー、履修モデルなどについて、心理学部紹介ホームページ、心理学部紹介入学案内パンフレット、オープンキャンパスなどを通して説明を行ってきた。その結果、2021年の入試状況は入学定員125名に対して1153名の志願者を集めることができ、2022年度の入学者数は128名となった。次年度も引き続き広報活動を充実させ、志願者と入学者の確保を行っている。

2. 新入生オリエンテーション、及び履修指導

総合型選抜入試・学校推薦型入試の合格者に対しては、2022年2月にフォローアップセミナーを開催した。事前に心理学に関する書籍を読んだ上でレポートを提出してもらい、当日はZoomを用いた遠隔（オンライン）で集まり、提出されたレポートの発表や心理学を学ぶ動機などを伝え合うことを行った。このような機会を設けることで、入学前の段階から学生同士の交流を図らせ、学びのイメージを具体化させた。2022年4月の授業開始前には、学部生全員が参加必須とするオリエンテーションを学年別に対面で実施した。新入生に向けたオリエンテーションでは、学部教育の基本的理念、人材育成目的、学部教育の特色などを説明した。加えて、学生便覧、シラバス、時間割等の資料を示し、卒業要件に必要な科目、履修方法、取得可能な資格などについて具体的な説明と質疑応答を行った。さらに、学部長、1年生担任（5名）から新入生に向けた挨拶も行った。加えて、オリエンテーション後に「謎解き学内オリエンティング」という学科プログラムを実施し、大学内を理解してもらおうとともに学生同士が交流する時間をもたせた。新2年生と新3年生に向けたオリエンテーションでは、改めて学部教育の基本的理念や、履修科目を選択する際の注意点、資格取得に向けた計画的な履修の方法などについて確認した上で、心理学発展科目における基本科目、実践科目、関連科目の関係性や役割、特色などについて説明した。また、2年次以降から履修可能となる「心理学専修科目」についても、「心理学導入科目」との関係や科目の構成について説明を行った。新2年生と新3年生に対しては、今後も授業内で専門分野選択のための説明を行い、周知徹底を図る。来年度も今年度同様、学年別にオリエンテーションを実施し、学生が大学生活を円滑に過ごし、つづがなく科目履修が行えるように履修指導を行っていく予定である。

3. 初年次教育

心理学部における1年次配当科目は、「専門教育科目」と「共通科目」に分かれる。特に「専門教育科目」については、本学部が目指す人材養成の基本理念、学問体系を学生の入学当初に十分に教授する必要があることを踏まえ、心理学導入科目6科目、心理学基礎科目3科目、心理学発展科目：基本科目5科目、心理学演習実習科目2科目を設置している。

1) 心理学導入科目

心理学を学んでいく際のイントロダクションとなる心理学導入科目6科目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために2021年度はすべて遠隔（オンライン）授業で実施し、目的や内容は昨年度と同様であった。

2) 心理学基礎科目

心理学基礎科目では、心理学の科学的な考え方を修得することを目的とした3科目を配置しており、2021年度は目的や内容は昨年度と同様にほとんどの授業を遠隔（オンライン）により実施した。

3) 心理学発展科目：基本科目5科目

心理学発展科目のうち基本科目では、幅広い心理学領域の基礎となりうる5科目を配置しており、2021年度は目的や内容は昨年度と同様にほとんどの授業を遠隔（オンライン）により実施した。

4) 心理学演習実習科目

心理学に関する基礎的概念やその応用方法を学びながら、より実践的な課題解決力を身につけることを目的として、心理学演習実習科目では「心理学入門演習」と「心理学体験実習A（ボランティア）」を配置しており、2021年度は目的や内容は昨年度と同様にほとんどの授業を遠隔（オンライン）により実施した。

5) 共通科目

1年次春学期の共通科目「フレッシュマンセミナー」では、新入生が大学生活を有意義に過ごすために共通に身につけるべき基本的な態度・資質・能力などを育むことを目指しており、2021年度は目的や内容は昨年度と同様にほとんどの授業を遠隔（オンライン）により実施した。また、クラス担任とのZoomを用いた遠隔（オンライン）面談を通じて、個別の生活指導、履修指導を行った。

1年次秋学期の共通科目「ベシクセミナー」では、学科の専門教育を受けるために必要な基礎的な知識や能力を身につけることを目指しており、2021年度は目的や内容は昨年度と同様に遠隔（オンライン）授業を10回、対面授業を5回実施した。2年次でも積極的にクラス内での交流の機会を設け、学生のコミュニケーション力の向上を図ることとあわせて、クラス担任との個別面談の機会を設け、生活指導、進路指導を行っていく。

4. 2年次教育

心理学部における2年次配当科目は、「専門教育科目」と「共通科目」に分かれる。「専門教育科目」では2年次において心理学体系に基づいた基本的知識や視点、方法論や考え方を修得することを目的とし、心理学基礎科目2科目、心理学発展科目：基本科目2科目、実践科目5科目、関連科目1科目、心理学専修科目10科目、心理学演習実習科目2科目、さらに心理学演習実習科目から発展した科目である臨地研修2科目を設置している。

1) 心理学基礎科目

心理学の科学的な考え方を修得することを目的とした心理学基礎科目2科目では、以下のように授業を実施した。

「心理学実験法」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から遠隔（オンライン）授業を15回実施し、心理学における実証的研究法（量的・質的）の種類や手続き、データの基本的処理について説明するとともに、心理学領域において正しく研究を行う上で理解すべき研究倫理に関する講義を行った。「心理学実験」では、遠隔（オンライン）授業を3回、対面授業を12回実施し、心理学における論文やレポートの執筆方法、及び研究における倫理事項を説明するとともに、実際に学生が行った実験（調査）によって得られたデータに対して適切な統計解析を行い、その結果を心理学で求められる規則に従い、レポートにまとめることを目的として演習を実施した。

2) 心理学発展科目

心理学発展科目においては、幅広い心理学領域の基礎となりうる基本科目を2科目、各領域の基本的な概念や考え方を社会の中でどう活用するかを学ぶ実践科目を5科目、社会で心理学を生かす際に必要な医学的知識や関連する法律や制度の知識、そして専門職の職責等を考える関連科目を1科目配置しており、2021年度はすべての授業を遠隔（オンライン）で以下のように実施した。

<基本科目2科目>

「感情・人格心理学」では、感情に関する理論及び感情喚起の機序について、さらには人格の定義や主要な人格理論について講義を行った。「障害者・障害児心理学」では、身体障害、知的障害、発達障害、精神障害のそれぞれについて、障害・疾患を踏まえた上で心理社会的課題を整理し、代表的な支援を取り上げ講義を行った。

<実践科目5科目>

「健康・医療心理学」では、健康とは何かを理解するとともに、医療における心理学の必要性、医療領域における心理職の役割・心理支援・多職種協働についての講義を行った。「福祉心理学」では、公認心理師の受験に必要な科目の要件を含め、公認心理師に必須の福祉心理学の概念と福祉分野における心理支援を講義した。「教育・学校心理学」では、教育課題への心理学的理解を深め、不登校・いじめ・暴力行為などの諸課題への3段階の心理教育的援助サービスと「チーム学校」を活かした対応について、講義とワークシートを用いて考える授業を展開した。「司法・犯罪心理学」では、司法犯罪に関連する法律や制度を説明するとともに、犯罪の発生状況、加害者や被害者の特徴やその支援、地域防犯等について、警察から裁判所といった一連の司法機関あるいは様々な罪種に関する講義を行った。「産業・組織心理学」では、組織における人の行動について、また、職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理的支援について講義を行った。

<関連科目1科目>

「精神疾患とその治療」では、主な精神疾患の原因・症状・治療および関連職者との連携や社会とのかかわりについて講義を行った。

3) 心理学専修科目

2 年次から履修が可能となる選択必修科目であり、学生一人ひとりが進路や関心に沿って履修可能となっている。2年次においては10科目を配置し、現代社会の問題を反映した子ども・家族、対人関係、多様性、福祉、教育、医療・健康、司法・犯罪、産業の 8 つのフィールドから構成されている。2021年度はほとんどの授業を遠隔（オンライン）で以下のように実施した。

「家族心理学特講A（子どもの心理療法）」では、遠隔（オンライン）授業を3回、対面授業を12回実施し、遊戯療法の関連理論を講義するとともに、ディスカッションやロールプレイを通して遊戯療法士としての基本的なスキルと態度の獲得を目指した。「対人関係心理学特講A（パーソナリティと心理学）」では、対人関係においてパーソナリティが果たす役割について理解することを目的として次の視点より実施した。1つ目の視点は日本人のパーソナリティの特徴に焦点をあて、2つ目の視点では、自我におけるパーソナリティに焦点をあてて講義を行った。「多様性心理学特講A（コミュニティ心理学）」では、伝統的な心理支援（カウンセリング、心理療法）の効用を認めた上で、その限界も踏まえ、現代社会に相応しい形で多様なレベルへの介入を行うためのコミュニティ心理学の考え方と実践についての基本を説明した。「福祉心理学特講A（成人と高齢者の心理学）」では、現在のわが国における少子高齢化に関する社会的状況から、成年期から老年期における身体的側面や心理的側面まで幅広く理解することを目的として講義を行った。「学校心理学特講C（学校臨床心理学）」では、学校心理学の基礎を学ぶとともに、子どもたちを取り巻く諸問題についての理解と対応を深める講義を行った。「医療健康心理学特講A（力動的心理療法）」では、フロイトの精神分析から始まり現代にいたるまでの力動的、すなわち精神分析的な心理療法について、力動的な心理療法の基本技術や概念、その治療的関与の方法について講義を行った。「医療健康心理学特講B（認知行動療法）」では、認知行動療法の基礎的な考え方について講義し、さまざまな状態像のクライアントに対し、効果的な介入を行う方法に関する授業を展開した。「司法犯罪心理学A（被害者支援心理学）」では、犯罪の被害を受けた人の被害後の困難、及び必要な支援について、心理面はもちろんのこと、生活や司法を含めて講義を行った。「司法犯罪心理学B（心理学と法）」では、法が作動する場面（捜査手続きや裁判等）に関わりが深く、かつ心理学や精神医学が関与する鑑定等について、その理論や方法の基礎的知識を説明した。「産業心理学特講A（キャリア心理学）」では、進路選択の準備につながる講義やワークを行い、受講生が学科の応用心理学（社会実践）モデルで求められる、課題解決力やコミュニケーション力を身につけ、主体的に働く力をつけることを目指した。

4) 心理学演習実習科目

心理学を社会に活かすことができるよう、実地で学ぶことを目的とした心理学演習実習科目2科目は、以下のように授業を実施した。

「心理学体験実習B（異文化体験）」では、遠隔（オンライン）授業を15回実施し、多文化社会で外国人の人々が生きていく上で生じる障壁や「多文化共生」の課題と解決について検討した。また、地域の国際センターの役割や留学生との協働活動等を通して外国人支援のあり方について共感的に理解するよう促した。「心理学基礎演習」では、遠隔（オンライン）授業を11回、対面授業を4回実施し、心理学史の教科書を題材に、現代心理学までの足跡を鑑みること、その貢献と問題点などを整理して理解するとともに、ディスカッションを行い、心理学への理解を深めていくことを行った。

5) 臨地研修

自分で問題意識をもってボランティア先を見つけ、課題解決について取り組む力を身につけるための科目である「臨地研修（短期）」は履修者がいなかったため閉講となった。

6) 共通科目

2年次春学期の共通科目「専門とキャリアA」では、遠隔（オンライン）授業を13回、対面授業を2回実施し、受講生が将来の自分の進路について真剣に考え、進路選択に向けた基本的態度や知識を身につけることを目指し、働くこと、心理学の専門職や一般企業をはじめとした仕事、本学科で取得できる、あるいは就職に関連した資格についての説明や、SPI、マナー、インターンシップ、保険・年金等の進路活動を行う上で理解すべき事項について講義を行った。また、クラス担任とのZoomを用いた遠隔（オンライン）面談を通じて、個別の生活・進路指導、履修指導を行った。

2年次秋学期の共通科目「専門とキャリアB」はすべて遠隔（オンライン）授業で実施し、受講生がより具体的に進路選択に向けた準備を進める態度・知識を身につけることを念頭に、本学の就職支援体制やキャリアセンターの活用方法、自己分析や企業分析の方法、社会人基礎力、エントリーシートやSPI対策、本学大学院心理学研究科の紹介や入試対策等について講義を行った。また、外部講師や学科就職内定者、卒業生を招いての講義を通じて、自分に合った進路を考え、その就職、進学に向けて活動できるように指導を行った。

3年次から学生はゼミに配属され、クラス担任ではなくゼミ担任が配置される。今後も、学生とゼミ担任が個別面談を行う機会を設け、学生の生活指導、進路指導を行っていく。

5. 施設の整備状況、及び実習先の確保状況

臨床心理学実習支援室の整備・運営は当初の計画通りに行われ、実習施設からの情報を集約し、問題が生じた場合に的確に把握し、迅速に対応できる体制を整えている。また、公認心理師のための実習先は、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働すべての領域で確保しており、2021年度から旧学部4年次生に対して見学実習を行った。新学部生に対しては、2023年度より見学実習を実施する予定である。

以上のことから、設置の趣旨・目的に関して2022年5月1日時点では、当初の計画を概ね達成することができていると言える。